

PRO

取扱説明書

工事説明付き

増設ユニット

品番 WJ-HXE400UX



(ハードディスクユニットは別売りです)

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3ページ～4ページ)を必ずお読みください。

もくじ

ご注意	安全上のご注意	3
はじめに	商品概要	5
	付属品をご確認ください.....	5
	取扱説明書について.....	5
	免責について	6
	個人情報の保護について	6
	HDDユニットについて（別売品）.....	6
取扱上の お願い	取扱上のお願い	7
	使用上のお願い	7
	設置上のお願い	9
各部の名称	各部の名前とはたらき	11
	前面パネル	11
	前面カバー内	12
	後面パネル	13
設置	設置・運用の流れ	15
	設置の流れ	15
	運用について	15
	❶ラックへ取り付ける	16
	❷接続する	18
起動 セットアップ	❸起動する	19
	電源を入れる	19
	（電源を切るときは）.....	19
	❹HDDユニットについて	20
	HDDユニットの取り扱い.....	20
	HDDユニット押さえ金具について	20
	本機を輸送するときは.....	21
	本機へHDDユニットを取り付ける	22
	本機からHDDユニットを取り外す	23
	レコーダーから本機を取り外す	23
その他	故障かな!?	24
	仕様.....	25
	保証とアフターサービス.....	26

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告



■ 工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)

⇒必ず販売店に依頼してください。

■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる

(煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。)

⇒放置せずに直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)

⇒電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)

⇒傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

(コードが傷つき火災や感電の原因となります。)



禁止

■ 異物を入れない

(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)

⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

■ 不安定な場所に置かない

(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない






傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど

(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。)


⇒コードやプラグの修理は販売店に相談してください。

安全上のご注意（つづき）

警告

 禁止	■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない (たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。)
	■ 電源を入れたまま工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)
	■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)
	■ 湿気やほこりの多い場所に設置しない (火災や感電の原因となります。)
	■ 可動式電源プラグを有する延長コードは使用しない プラグ部を繰り返し可動させた場合、可動部内部に隙間が生じ、発煙・火災の原因となります。
 分解禁止	■ 分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。
 水ぬれ禁止	■ 機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない (水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
 接触禁止	■ 雷が鳴りだしたら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない（工事時を含む） (感電の原因となります。)
 ぬれ手禁止	■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない (感電の原因となります。)

注意

 禁止	■ 通風孔をふさがない (内部に熱がこもり、火災の原因となります。)
---	---------------------------------------

はじめに

商品概要

WJ-HXE400UX（以下、本機）は、別売りのH.265対応ネットワークディスクレコーダー（WJ-NX400KUX、WJ-NX300UXシリーズ、以下レコーダー）の増設ユニットです。

本機は別売りのHDDユニット（専用のケースに取り付けられたハードディスクドライブ）を最大9台まで搭載できます。

また、ハードディスクドライブの耐故障性を高めるRAID (Redundant Arrays of Inexpensive Disks)機能での運用も可能です。

HDDユニットは、本機の前面カバーを開けて、簡単に取り付け、取り外しができます。

本機単体では設定ができませんので、必ず対応のレコーダーに接続して使用します。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）.....	1冊	ラベル※	1枚
電源コード	1本	ラックマウント金具	2個
接続ケーブル（1.5 m）.....	1本	ラックマウント金具取付ねじ	6本
ケーブルクランプ.....	2個	ラックマウント用取手	2個
鍵.....	2本	ラックマウント用取手取付ねじ	4本
電源コードクランプ	1個	ワッシャー	4個

※天面のラベルと同一品です。ラック取り付け時に見える場所へ貼ってください。

取扱説明書について

本書は、本機の設置・接続方法、HDDユニットの取り付け、取り外し方法などについて、レコーダーとの構成を例に説明します。お使いのレコーダーの取扱説明書もあわせてお読みください。

免責について

- この商品は、カメラで監視している画像の録画、再生を目的に作られています。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損などの不便・損害・被害
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
 - ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥お客様による監視映像・記録が何らかの理由（ユーザー認証OFFでの使用を含む）により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
 - ⑦登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

個人情報保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

HDDユニットについて（別売品）

本機は、別売りのハードディスクユニット（HDDユニット）が必要です。

HDDユニットの購入は販売店に相談してください。

取扱上のお願

使用上のお願

使用電源

AC100 V 50 Hz/60 Hzです。消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。また、水滴や水しぶきのかからない場所で使用してください。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

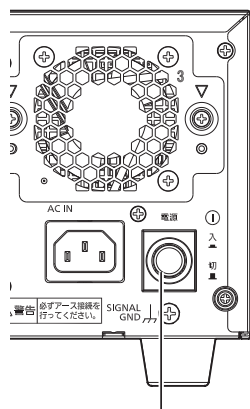
使用温度範囲

本機の使用温度範囲は+5℃～+45℃です。この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。

※HDDユニットは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+25℃程度でのご使用をお勧めします。

電源スイッチ

本機の電源スイッチは後面にあります。電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断するには、ACコンセントから本機の電源プラグを抜いてください。



電源スイッチ

HDDユニットについて

- HDDユニットは精密機器です。衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをしてください。振動・衝撃はHDDユニット故障の原因になります。
- HDDユニットに記録された情報内容は、万一、消失しても故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしかねます。
- 電源を入れたときや電源を切った直後（約30秒間）は、HDDユニットが動作中です。移動や設置作業は絶対にしないでください。
- HDDユニットは消耗劣化し、寿命は使用環境により異なります。各HDDユニットの稼働時間が20000時間を超えると、書き込みエラーなどが発生しやすくなり、30000時間を超えると、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命となります。（+25℃で使用時）
- 大切なデータが壊れないように、機器の周辺温度を+25℃程度に保ち、18000時間を目安に交換することをお勧めします（ただし、この時間は目安であり、寿命を保証するものではありません）。各HDDユニットの稼働時間は、設定メニュー〔詳細設定〕の〔メンテナンス〕 - 〔HDD情報〕タブの「稼働時間」で確認することができます。
- HDDユニットに異常が発生した場合は、すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。また、HDDユニットの購入、交換は販売店にご相談ください。

結露について

結露が発生すると故障の原因となりますのでご注意ください。

以下のような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

取扱上のお願い（つづき）

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

機器を譲渡・廃棄される場合

本機に記録された情報内容と、本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いに十分に注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行なってください。

記憶媒体を廃棄する際は、データを削除した後に物理的に破壊することを推奨します。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器上面をご覧ください。

本機の再起動について

下記の場合、本機は録画を継続するために、自動的に再起動を行います。

- 本機のソフトウェアが装置内部の異常を検出し、再起動が必要と判断した場合

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

梱包箱等について

梱包箱、緩衝材、HDDユニット押さえ金具は本機を輸送するときが必要です。

お客様で適切に保管してください。

運搬について

本機は10 kgを超える製品です。本機の落下に注意して運搬してください。落下による本機の破損・変形やけがの原因になります。

無線障害について

警告口本機を住宅環境で使用すると、無線障害を引き起こす可能性があります。

設置上のお願い

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
本機は屋内専用です。

以下の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- スピーカーや大きい音を発する装置など、音圧による振動を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- 傾斜のある場所
- ほこりがたまりやすい場所
- 水滴や水しぶきがかかる場所

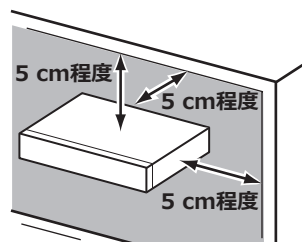
本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください

ゴム製品による硫化について

硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など）を本機の近傍や同じ収納ボックス内に設置しないでください。ゴム製品からの硫黄成分により、電気部品や端子などが硫化腐食し、不具合を発生するおそれがあります。

横置き（水平）に設置してください

縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度あけてください。



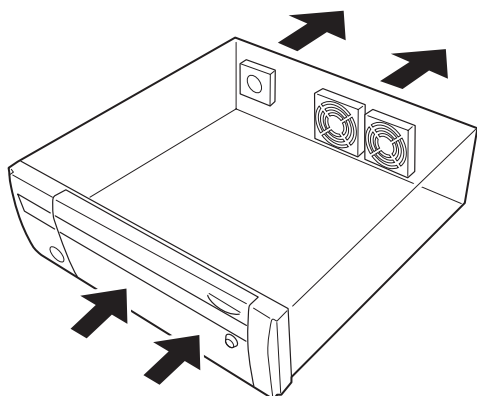
HDDへの衝撃を避けるため、運用中は電動ドライバーを使用しないでください

取扱上のお願い（つづき）

放熱について

内部に熱がこもると、故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風孔を壁やラック、布などでふさがないでください。ほこりなどで通風孔がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30000時間を目安に交換してください。交換は販売店に依頼してください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度あけてください。また、前面にある通風孔から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この通風孔をふさがないでください。



雑音源は避けてください

電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、画像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

アース（接地）について

電源プラグは、保護接地接続をもつ主電源コンセントに接続してください。

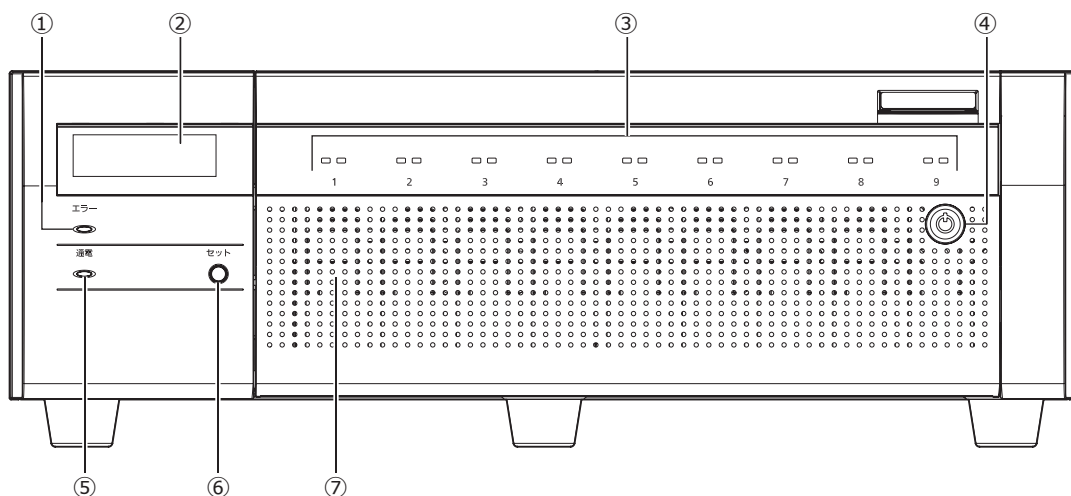
電源コードの取り付けかた

電源コードは、必ず遮断装置を経由した次のいずれかの方法で接続してください。

- 電源制御ユニットを経由して接続する
- 容易にアクセス可能な電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを経由して接続する
- 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること

各部の名前とはたらき

前面パネル



①[エラー] ランプ

本機に異常が発生したときなど、本機の運用に支障があるときに点滅します。

点滅（赤色）：システム異常（NWリンクエラー、HDDに関するエラー、録画異常など）

点滅（橙色）：温度異常、放熱ファン停止など。
異常が自動復帰すると点灯します。

②LCD

本機の温度や運用モードを表示します。本機は、設定にレコーダーが必要です。LCDを使用した本機単体での設定はできません。

③HDDランプ（1～9）

前面カバー内に取り付けたHDDユニットのHDDステータスランプとHDDアクセスランプを透過表示します。

HDDステータスランプ（左側）

HDDの運用状態を表示します。（☞12ページ）

HDDアクセスランプ（右側）

HDDの状態と故障表示をします。（☞12ページ）

各ランプはHDDユニット1～HDDユニット9それぞれの状態を表示しますが、システムエラーが発生した場合、各ランプは同じ表示になります。

重要

- RAID1 / RAID5 / RAID 6 モード時にHDDランプが赤色点灯した場合、速やかにエラーが発生したHDDユニットを交換してください。HDDユニットの交換については販売店にご相談ください。
- RAID5モード時：
HDDランプが2個以上赤色点灯／赤色点滅した場合、データは復旧できません。
- RAID6モード時：
HDDランプが3個以上赤色点灯／赤色点滅した場合、データは復旧できません。

④前面カバーの鍵

前面カバーの開閉時に使用します。

鍵は適切に管理してください。

施錠： 鍵を左に回します。

開錠： 鍵を右に回します。

⑤[通電] ランプ：電源が入っているときに点灯します。

⑥セットボタン [セット]

本機の設定を初期化（工場出荷設定）するとき、以下の手順で使用します。

①セットボタンを押しながら電源スイッチを入れます。

②LCDに「パラメータショキカ ジッコウ [セット]」が表示された後、再度セットボタンを押すと初期化されます。

※初期化しない場合は、セットボタンを押さずに電源を切ってください。

③LCDに「パラメータショキカ カンリョウ」が表示されたら初期化終了です。

重要

- 本機を初期化するとHDDユニットのデータが読み出せなくなりますので初期化を行う場合は、事前に販売店にご相談ください。

⑦前面カバー

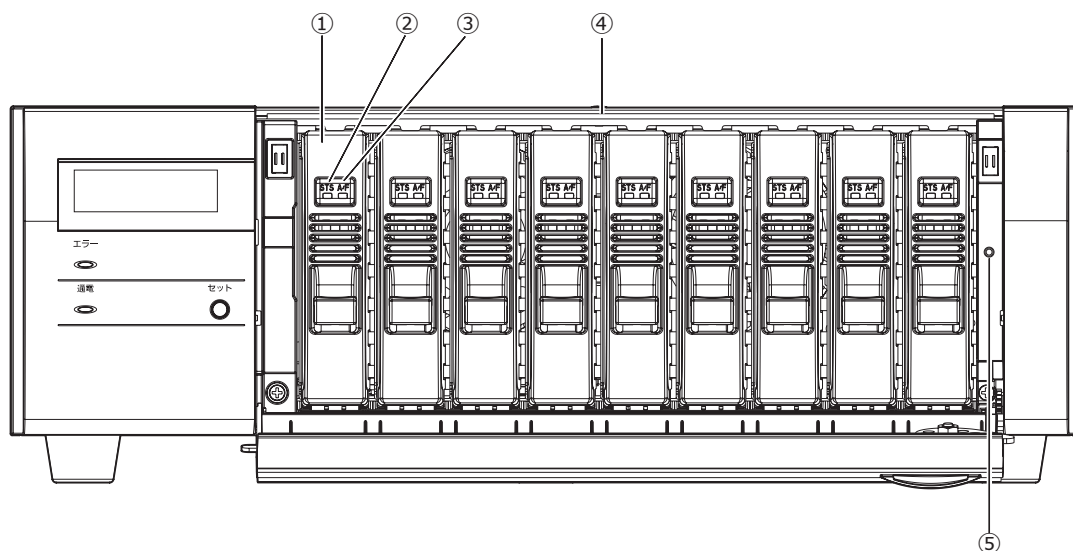
HDDユニットの追加や交換をする場合に開きます。

通常運用時は、必ず閉じて鍵をかけた状態でご使用ください。

各部の名前とはたらき（つづき）

前面カバー内

※下記イラストは「HDD ユニット押さえ金具」を外して「HDD ユニット」を9台実装した状態です。



①HDDユニット（別売り）

専用ケースに取り付けられたHDDです。
HDDユニットの購入、交換は販売店に相談してください。

②[STS] HDDステータスランプ

HDDの運用状態を表示します。

- 点灯（緑色） : HDDの電源「入」（フォーマット済）
- 点滅（緑色） : 再生専用HDD（録画不可、再生のみ可）
- 点滅（橙色） : HDDフォーマット中
- 点滅（赤色） : HDDフォーマット失敗
- 消灯 : HDDの電源「切」
HDDが接続されていない、または認識されていない

点滅（赤色） : 故障（エラー）が発生したHDD（HDD交換でもデータ復旧不可能な状態）

- RAID5モード時は、2番目に故障したHDD
- RAID6モード時は、3番目に故障したHDD

点滅（橙色） : RAID1 / RAID5 / RAID6モードでデータ復旧中のHDDユニット（処理が高速で行われている場合、橙色点灯のように見える場合があります）

③[A/F] HDDアクセスランプ

HDDの状態と故障表示をします。

RAID1 / RAID5 / RAID6モードで運用中に、HDDに故障（異常）が発生した場合は、ランプが赤色点灯／赤色点滅します。

- 点滅（緑色） : HDDにアクセス中
- 消灯 : HDDにアクセスなし
- 点灯（赤色） : 故障（エラー）が発生したHDD（HDD交換にてデータ復旧可能なHDD）
 - RAID1 / RAID5モード時は、最初に故障したHDD
 - RAID6モード時は、最初と2番目に故障したHDD

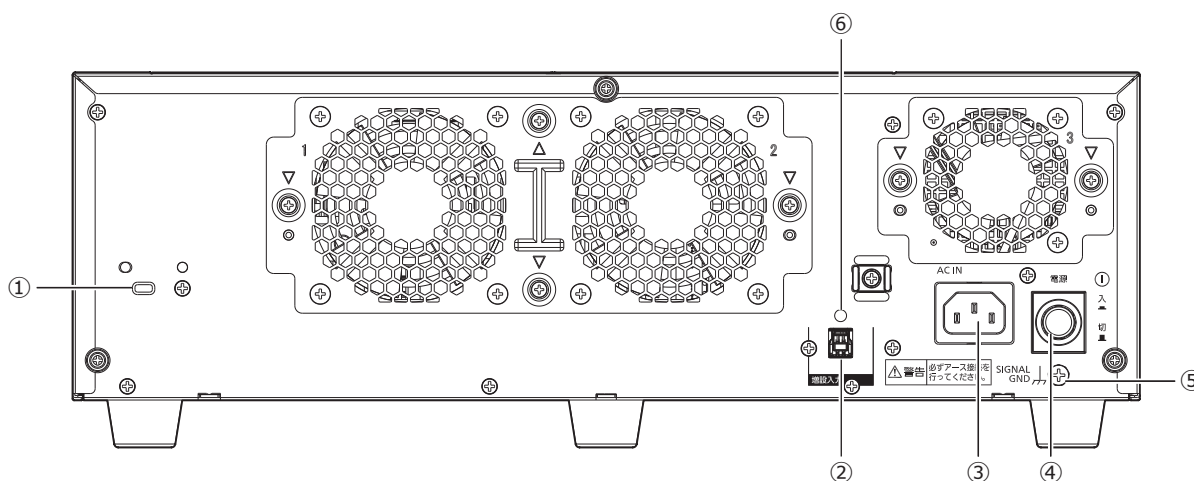
④HDDユニット挿入口

別売りのHDDユニットを最大9台まで搭載できます。

⑤HDDユニット押さえ金具固定用ねじ穴

HDDユニット押さえ金具を固定するねじ用の穴です

後面パネル



①盗難防止用スロット

盗難防止用セキュリティワイヤーのロック装置を装着します。

②増設入力端子 [増設入力]

別売りのレコーダーと本機を付属のケーブルで接続します。

③電源端子 [AC IN]

付属の電源コードを接続します。緩んだり抜けたりしないよう、電源コードは奥まで確実に差し込んでください。

④電源スイッチ

電源を入れるときに押します。再度押すと、電源が切れます。

重要

- すべての増設ユニットの電源を入れてから、レコーダーの電源を入れてください。
- 電源を切るときはレコーダーの電源を先に切ってください。

⑤SIGNAL GND 端子 [SIGNAL GND]

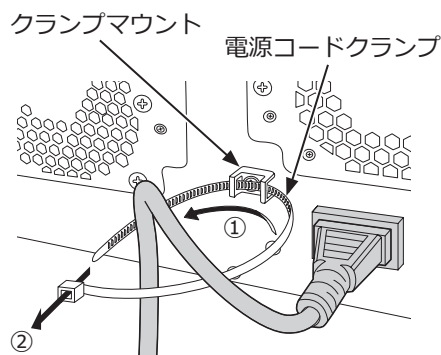
本機のSIGNAL GND端子とシステムの他の機器のSIGNAL GND端子を接続して、アースを取ってください。アースを取らないと、ノイズが出るなどの不具合の原因となる場合があります。

⑥ケーブルクランプ取り付け穴

接続ケーブルを固定するためにケーブルクランプ（付属）を取り付けます。

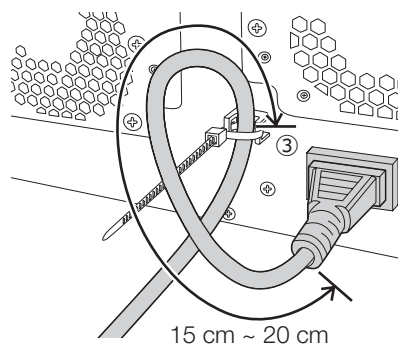
電源コードクランプの使い方

電源コードの抜け防止のため、電源プラグから 15 cm ~ 20 cm のところを付属の電源コードクランプで確実に固定します。



① クランプマウントに電源コードクランプを通します。

② 電源コードを締めるため、イラストのように電源コードクランプで輪をつくります。



③ 電源コードのコネクタから 15 cm ~ 20 cm のところを締めてクランプマウントに固定します。電源コードクランプのあまった部分は必要に応じて切断してください。

各部の名前とはたらき（つづき）

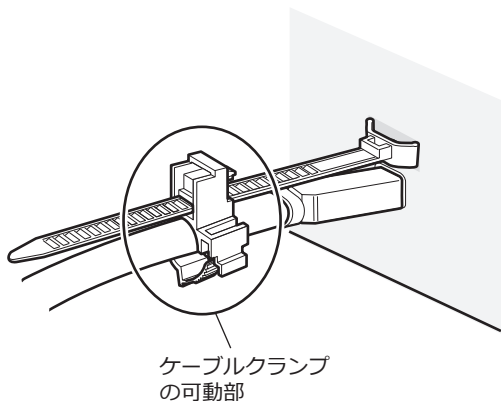
ケーブルクランプの取り付け

接続ケーブルは、付属のケーブルクランプを使って、以下の手順で固定します。

STEP1

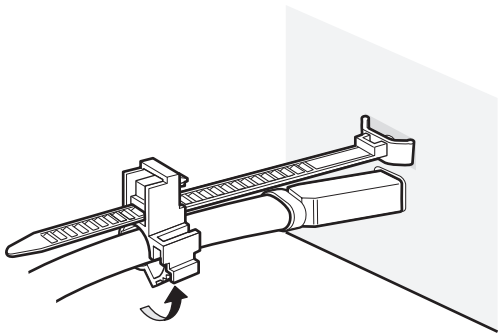
ケーブルクランプ（付属品）を本機裏面の取り付け穴に取り付け、可動部のベルトに接続ケーブルを通します。

- ケーブルクランプを軽く引っ張って本機裏面から抜けないことを確認してください。



STEP2

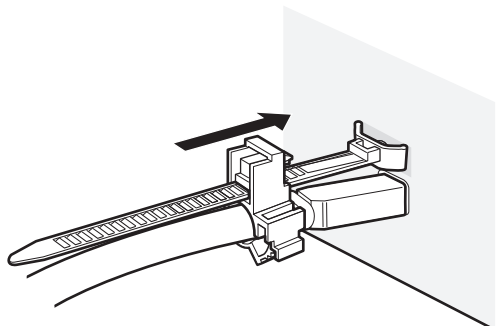
ケーブルクランプの可動部のベルトを最後まで締めます。



STEP3

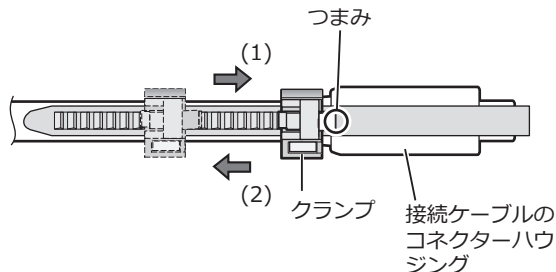
ケーブルクランプの可動部をスライドさせて、接続ケーブルのコネクター部をしっかりと固定します。

- 接続ケーブルが抜けないことを確認してください。



メモ

- ケーブルクランプを上から見た図

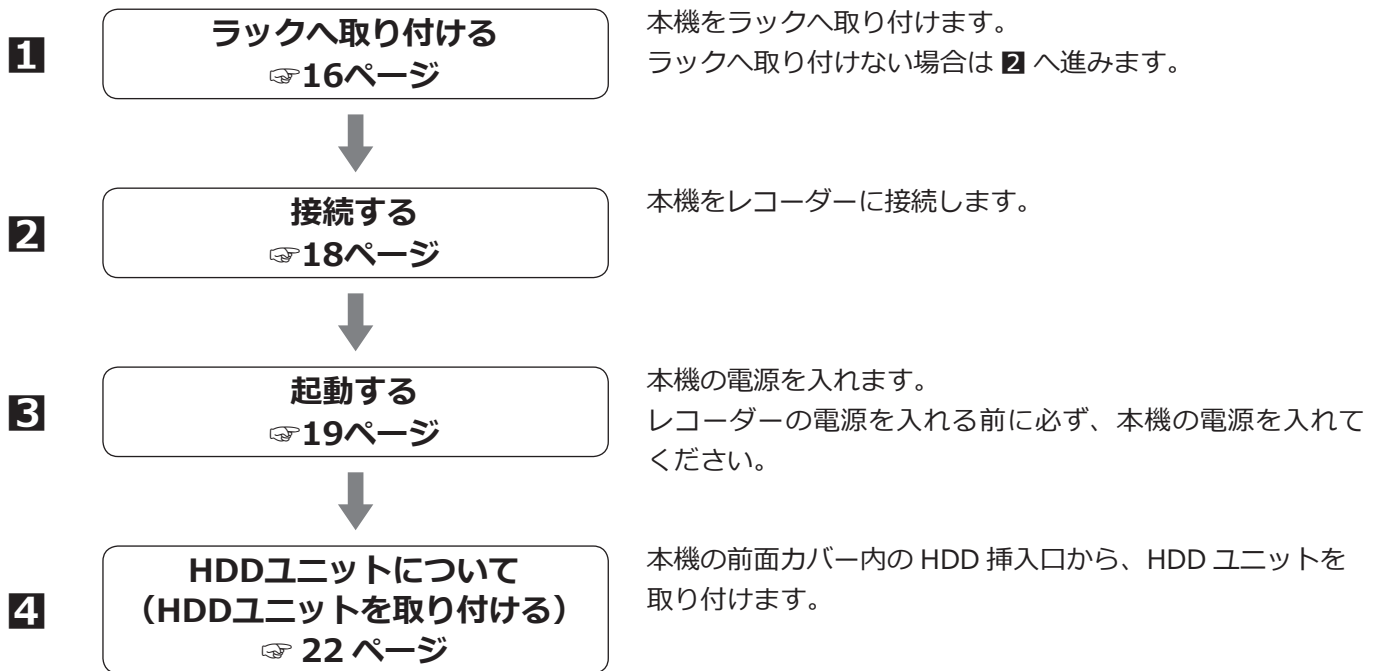


- ケーブルクランプの可動部を図の矢印（1）の方向にスライドさせ、コネクターハウジングの根元を押さえます。可動部が根本までスライドしていないと接続ケーブルが抜けてしまいます。
- ケーブルクランプの可動部を図の矢印（2）の方向にスライドさせる場合は、クランプ上部の「つまみ」を押し下げたままスライドしてください。

設置・運用の流れ

設置の流れ

本機を設置の流れは以下のとおりです。



運用について

本機だけでは取り付けられたHDDユニットの運用モード設定、初期化等を行えません。接続したレコーダーから設定を行ってください。

詳しくは対応するレコーダーの取扱説明書をお読みください。

1 ラックへ取り付ける

本機を取り付けるラックは、EIA規格相当品をご使用ください。

- EIA規格相当品（他社製）：EIA19型、奥行き550 mm以上のもの

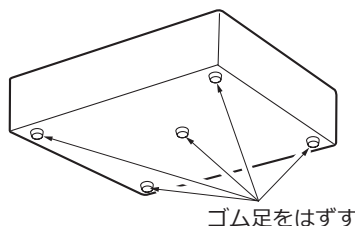
メモ

- 他社製ラックに取り付ける場合は、ラック取付ねじM5×12ねじ（4本）が必要です。
- 本機をラックに取り付けてから、HDDユニットを取り付けてください。
- 本ページのイラストは、形状の詳細を省略しています。

STEP1

底面のゴム足（5個）を外します。

ドライバーで、ゴム足を固定しているねじを外します。



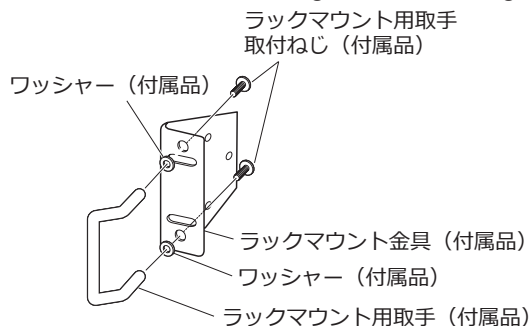
STEP2

ラックマウント金具（付属品）にラックマウント用
取手（付属品）を取り付けます。

ラックマウント取手取付ねじ4本（付属品）と
ワッシャー4個（付属品）で確実に固定します。

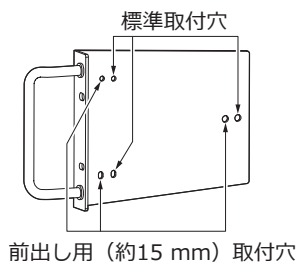
- ねじ締付トルク：

2.0 N・m ~ 2.4 N・m (20.5 kgf・cm ~ 24.5 kgf・cm)



メモ

- ラックマウント金具（付属品）には、前面側のラックからの飛び出しを調整するため、2種類の取付穴があります。設置条件に合わせて使用してください。



STEP3

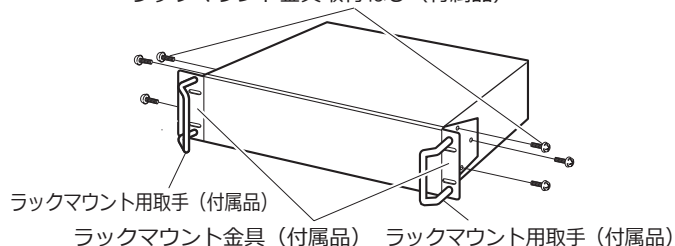
本機の両側面に、ラックマウント金具（付属品）を
取り付けます。

ラックマウント金具取付ねじ6本（付属品）で確実に
固定します。

- ねじ締付トルク：

0.88 N・m ~ 1.08 N・m (9.0 kgf・cm ~ 11.0 kgf・cm)

ラックマウント金具取付ねじ（付属品）



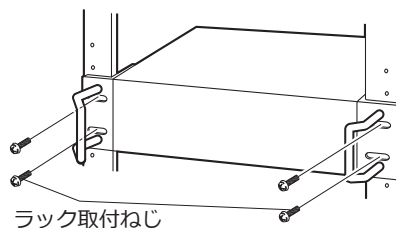
STEP4

本機をラックに取り付けます。

ラック取付ねじ（4本）で確実に固定します。

- ねじ締付トルク：

2.0 N・m ~ 2.4 N・m (20.5 kgf・cm ~ 24.5 kgf・cm)



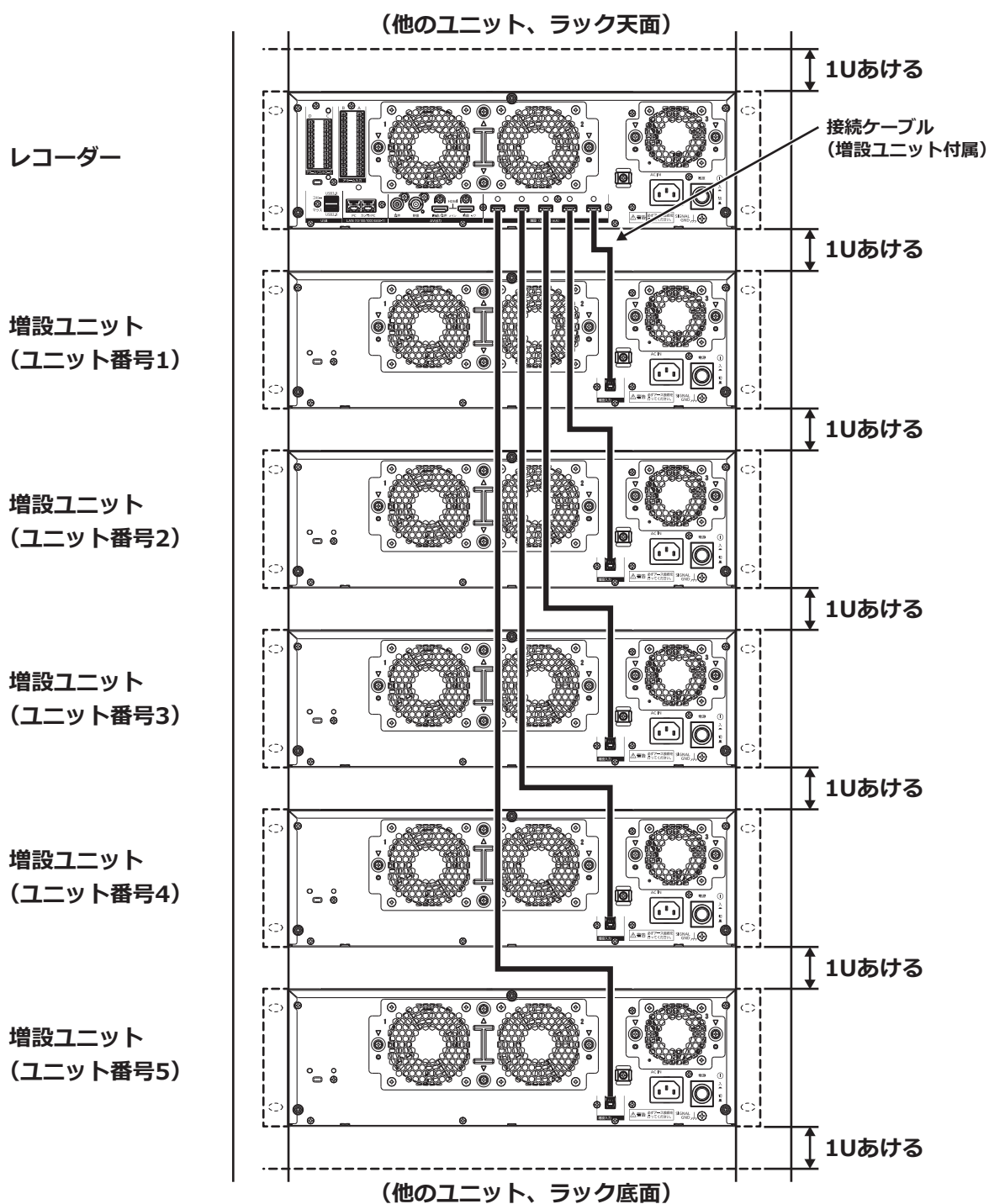
ラック取付ねじ

M5×12（現地調達）

重要

- 本機の使用温度範囲は+5℃～+45℃です。
※HDDは温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+25℃程度でのご使用をお勧めします。
- 使用温度範囲内でご使用いただくために、ラック設置時は以下の対策を行ってください。
 - ・ファンなどを取り付けてラック内温度を下げる。
 - ・本機の下上に1U（44 mm）以上の間隔をあける。
 - ・ラック前面に扉をつけない、四方をふさがない。
- 本機は10 kgを超える製品です。本機の落下に注意してラックへ取り付けてください。落下による本機の破損・変形やけがの原因になります。

レコーダー（WJ-NX400KUX）と本機（最大5台）をラックに取り付けた例です。
レコーダーと本機は、本機に付属の接続ケーブル（1.5 m）で接続します。（☞18ページ）

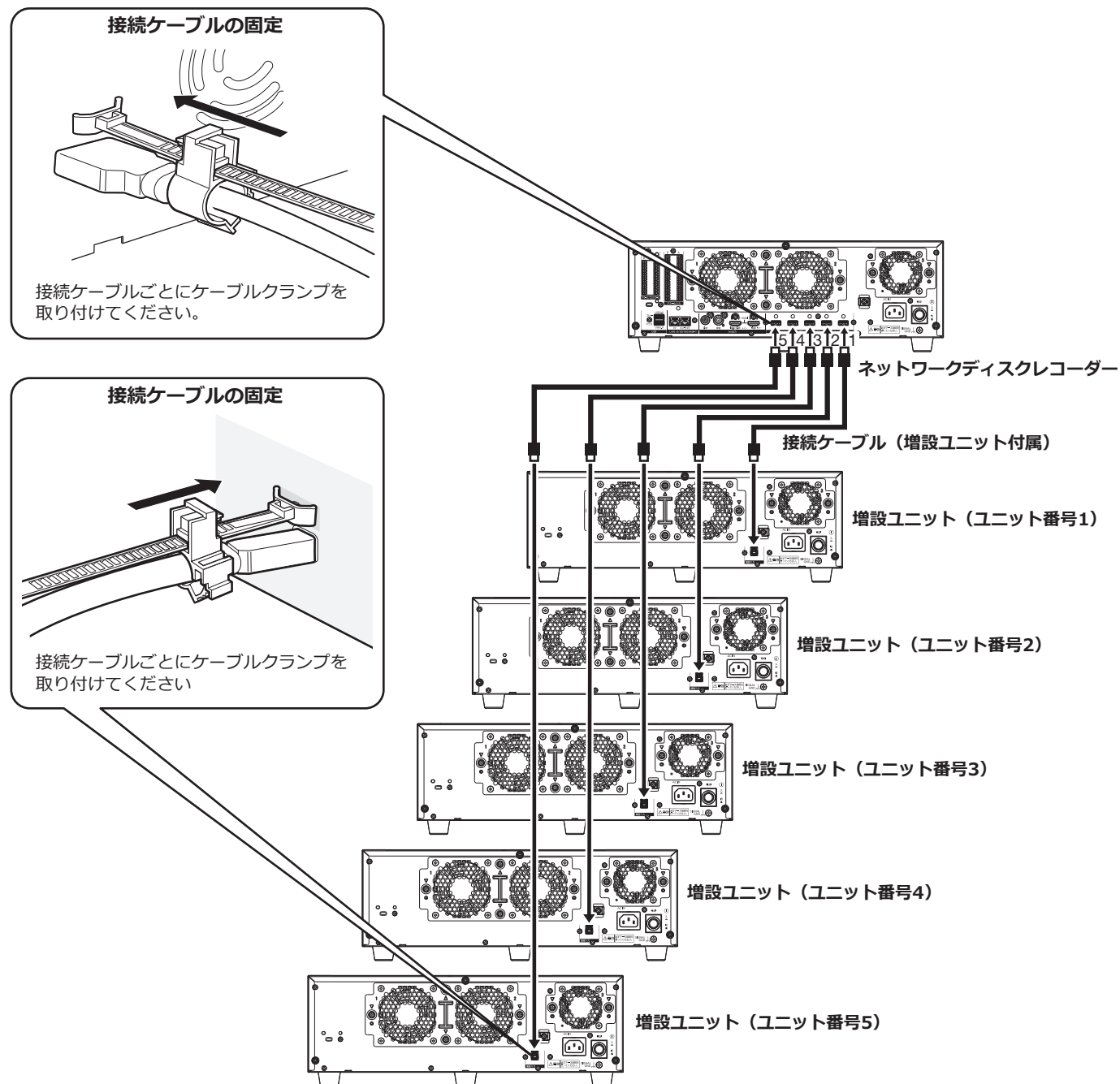


メモ

- 本機をラックに取り付けるときは、上下に1U（44 mm）以上の間隔をあけてください。
- ユニット番号は、レコーダーの増設端子の番号と同じになります。

2 接続する

別売りのレコーダー 1 台に本機を最大 5 台まで接続できます。本機とレコーダーは、付属の接続ケーブルで接続します。設置時には付属のケーブルクランプで接続ケーブルが抜けられないよう固定してください。



重要

- 接続には、本機に付属されている接続ケーブルを必ずご使用ください。
- 接続ケーブルは、必ず増設ユニット付属のケーブルクランプで固定してください (☞14ページ)。接続が不十分な場合や抜けた場合、システムが不安定になったり、画像が記録できなくなります。
- 接続ケーブルを円状に巻いて束線しないでください。

3 起動する

電源を入れる

重要

- すべての増設ユニットに付属の電源コードを接続し、レコーダーの電源を入れる前に、すべての増設ユニットの電源を入れてください。

STEP1

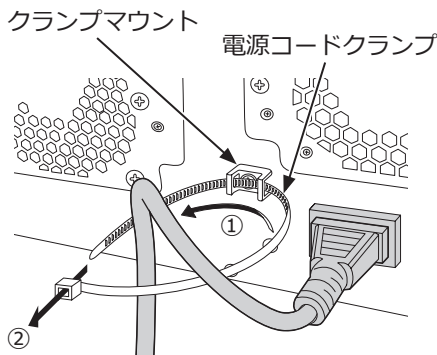
本機の後面パネルの電源端子に付属の電源コードを接続し、電源プラグをAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源コンセントに差し込みます。

必ずAC100 V 50 Hz/60 Hzの電源を使用してください。

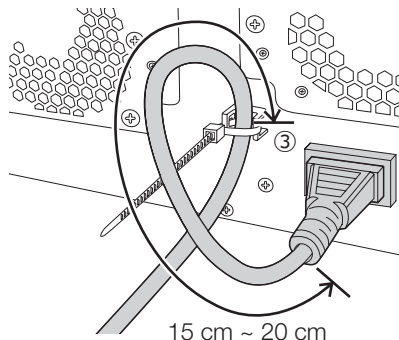
重要

- 電源コードは、緩んだり抜けたりしないよう、電源端子の奥まで確実に差し込んでください。
- 電源コードの抜け防止のため、電源プラグから15 cm ~ 20 cmのところを付属の電源コードクランプで確実に固定してください。

電源コードクランプの使い方



- ①クランプマウントに電源コードクランプを通します。
- ②電源コードを締めるため、イラストのように電源コードクランプで輪をつくります。



- ③電源コードのコネクタから15 cm ~ 20 cmのところを締めてクランプマウントに固定します。電源コードクランプのあまった部分は必要に応じ切断してください。

STEP2

後面の電源スイッチを押します。

- [通電]ランプが点灯し、本体・HDDユニットのチェック(システムチェック)を開始します。
- システムチェック中はLCDに「WJ-HXE400 Initializing」と表示されます。
- システムチェックが終了すると、LCDに運用モードと温度が表示されます。

(電源を切るときは)

次の手順で電源を切ってください。
増設ユニットが複数ある場合、切る順番は任意です。

STEP1

レコーダーの録画を停止します。

- 録画中の場合はすべての録画を停止します。
- 再生中の場合は再生を停止します。

STEP2

レコーダーの電源スイッチを切ります。

STEP3

本機の電源スイッチを切ります。

重要

- 接続しているレコーダーの電源を切ったから、本機の電源を切ってください。

4 HDDユニットについて

HDDユニットの取り扱い

本機は、別売りのHDDユニットを前面カバー内のHDD挿入口から取り付けて使用します。

HDDユニットの購入、取り外し／交換は販売店に相談してください。

いったん使用したHDDユニットを取り付けるときも販売店に相談してください。

重要

- HDDユニットは精密機器です。衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをしてください。振動・衝撃はHDDユニット故障の原因になります。
- 輸送時には「HDDユニット押さえ金具について（本ページ）」、「本機を輸送するときは（☞21ページ）」をお読みください。
- 電源を入れたときや電源を切った直後（約30秒間）は、HDDが動作中です。移動や設置作業は絶対にしないでください。
- HDDユニットは必ずディスクスロットの1から順番に取り付けてください。
- RAID1※、RAID5※またはRAID6※モードで運用を開始したあとは、本機内のHDDユニットの取付位置を変更しないでください。変更すると、記録したデータが正しく読み出せなくなります。
※RAIDモードについては取扱説明書 操作・設定編をお読みください。

HDDユニット押さえ金具について

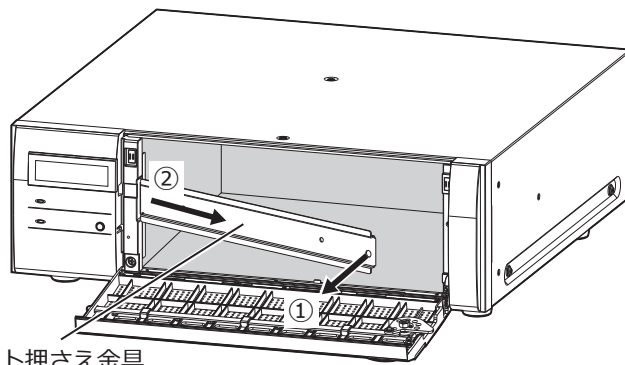
本機は、工場出荷状態でHDDユニット挿入口に「HDDユニット押さえ金具」がねじ止めされています。HDDユニットを取り付けるときは、先に「HDDユニット押さえ金具」を取り外してください。

「HDDユニット押さえ金具」と金具固定用のねじは、本機を輸送するときにHDDユニットが抜けるのを防止するために必要ですので、お客様にて適切に保管してください。

HDDへの衝撃を避けるため、電動ドライバーは使用しないでください。

HDDユニット押さえ金具の取り外しかた

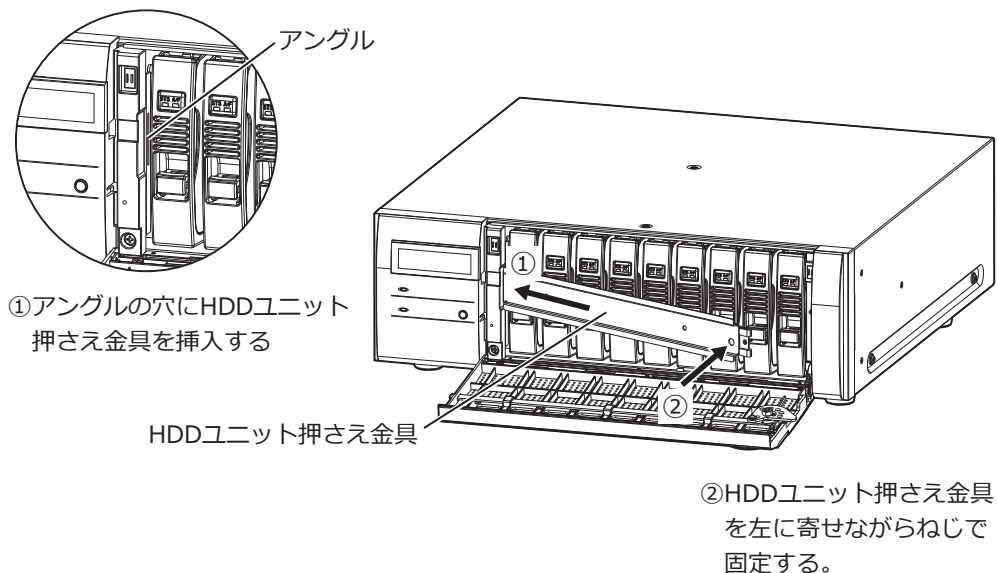
②HDDユニット押さえ金具を
右にずらして取り外す。



HDDユニット押さえ金具

①金具固定用ねじを取り外す。

HDDユニット押さえ金具の取り付けかた

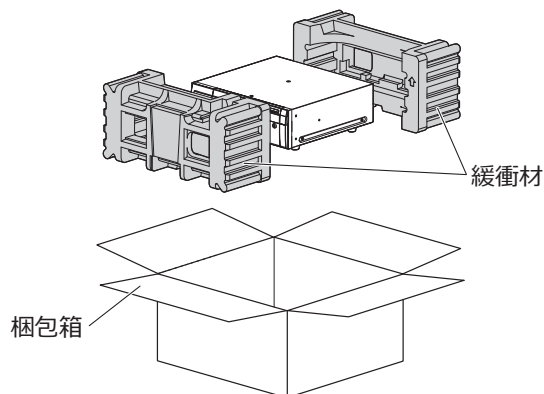


本機を輸送するときは

- (1) 本機内のHDDユニットをすべて取り外すか、またはHDDユニット押さえ金具を取り付けて、ねじ止めしてください。
- (2) 本機を緩衝材ではさんで梱包箱に入れてください。

重要

- 本機は10 kgを超える製品です。本機の落下に注意して輸送してください。落下による本機の破損・変形やけがの原因になります。



本機へHDDユニットを取り付ける

HDDユニットは別売りです。HDDユニットの購入は販売店に相談してください。

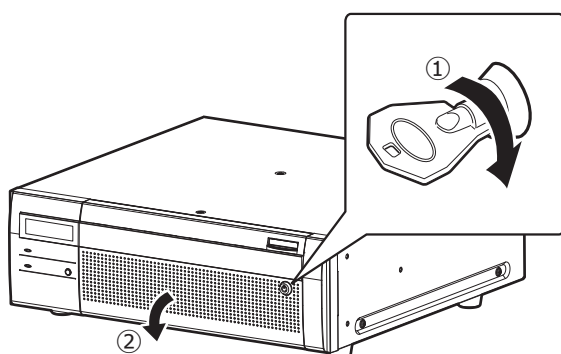
本ページのイラストは、形状の詳細を省略しています。

本機は、運用中でもHDDユニットを取り付けることができます（RAID1、RAID5またはRAID6モード運用時はのぞく）。

工場出荷状態で、「HDDユニット押さえ金具」が付いている場合は、STEP2の前に取り外してください。

STEP1

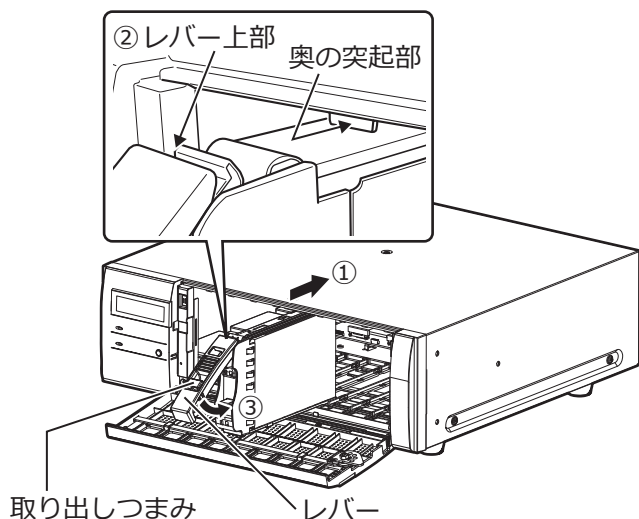
鍵（付属品）を前面カバーの鍵穴に挿入し、軽く押し込んで右に回して、前面カバーを開きます。



STEP2

HDD挿入口にあるHDD番号を目安に、HDDユニットを本機のディスクスロットに挿入します。

- ① HDDユニットの取り出しつまみを押し下げながらレバーを引き上げ、ディスクスロットの奥まで確実に挿入します。HDDに衝撃を与えないよう静かに挿入します（すでに挿入されているHDDユニットにも衝撃を与えないよう挿入してください）。
- ② レバー上部がディスクスロット上部奥の突起部に当たるまで確実に押し込みながらレバーを下げます。
- ③ レバーを下げると取り出しつまみが「カチッ」とはまります。



重要

- HDDユニットはディスクスロットの1番から順に挿入してください。
- HDDユニットを取り付けるとき、レバーで指を挟まないよう注意してください。

④ 対応するレコーダーのLCDに以下のように表示されます。

```
EXT x-y  
シンキディスク ツイカ
```

※xはユニット番号、yはスロット番号

LCD表示について

HDDユニットのHDD運用モードと温度がLCDの1行目に表示されます。

HDDユニットの状態がLCDの2行目に表示されます。

正常時	: 表示なし
1ダウン中	: 1タウン
2ダウン中	: 2タウン
3ダウン中	: 3タウン
RAID復旧開始待ち	: RCV START WAIT
RAID復旧中	: RECOVERING cc%
	(cc: 進捗率)
RAID復旧中(検証中)	: VERIFYING cc%
	(cc: 進捗率)

本機からHDDユニットを取り外す

HDDユニットを取り外す場合には、前もって取り外し処理が必要です。HDDユニットを交換する場合には取り外し処理と組み込み処理を行う必要があります。

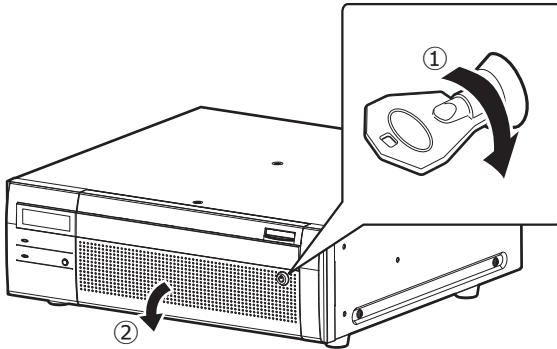
重要

- HDDユニットの取り外し処理と取り外し、取り付けと組み込み処理は必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
- 組み込み処理を行うと、HDDユニットのデータは消去されます。

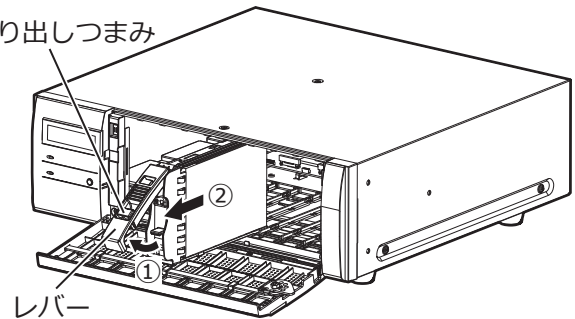
取り外し処理を行った後は、本機が運用中でもHDDユニットは取り外しできます。取り外し処理を行った後のHDDユニットの取り外しかたを以下の手順で説明しています。

STEP1

鍵（付属品）を前面カバーの鍵穴に挿入し、軽く押し込んで右に回して、前面カバーを開きます。

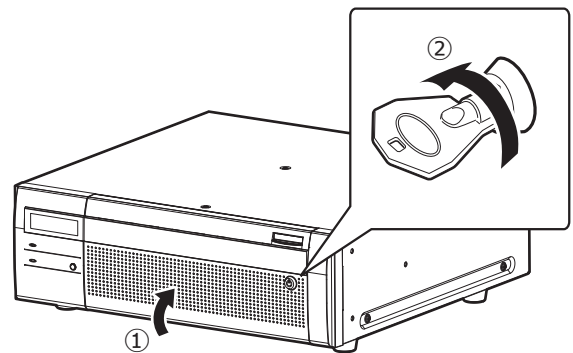


取り出しつまみ



STEP3

前面カバーを閉じ、軽く押し込んで鍵を左に回して、前面カバーを固定します。
鍵は適切に管理してください。



STEP2

HDDユニットを取り外します。

- ① HDDユニットの取り出しつまみを押し下げながら、レバーを引き上げます。
- ② HDDユニットを引き出します。
HDDに衝撃を与えないように静かに引き出します（落とさないようにご注意ください）。

重要

- HDDユニットを取り外すとき、レバーで指を挟まないよう注意してください。

レコーダーから本機を取り外す

本機を取り外す場合にも、前もって取り外し処理が必要です。本機を交換する場合には取り外し処理と組み込み処理を行う必要があります。

重要

- 本機を取り外すとき、レバーで指を挟まないよう注意してください。
- 組み込み処理を行うと、本機のHDDユニットのデータは消去されます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときまたは工事に関係する内容のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、弊社サポートウェブサイト (https://i-pro.com/jp/ja/support_portal) のFAQ (よくあるご質問) も参照してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	-
	●付属の電源コードが、本機に確実に差し込まれていますか？ 差し込まれているか、確認してください。	13
本機がレコーダーに認識されない	●付属の接続ケーブルを使用しているか確認してください。	-
	●接続ケーブルが緩んでいないか確認してください。	-
	●本機の電源をレコーダーよりも先に入れましたか？ システムを再起動し、本機の電源を先に入れてください。	19
	●プレーカーなどで一括に電源を入/切する場合は、同一の電源に接続してください。	-
	●無停電電源装置 (UPS) を使用する場合、同一のUPSに接続してください。	-
HDDが認識されない HDDステータスランプが点灯しない	●HDDユニットが確実にディスクスロットの奥まで差し込まれているか確認してください。	-
	●HDDユニットが故障しています。	-
HDDアクセスランプが赤色に点灯または点滅している	●HDDユニットをHDD1、2…、9の順番に取り付けているか確認してください。	-
	●RAID1 / RAID5 / RAID6モードでHDDユニットが故障しています。 RAID1：故障したHDDユニットのランプが点灯します。 RAID5：最初に故障したHDDユニットのランプは点灯し、2台目は点滅します。 RAID6：最初と2番目に故障したHDDユニットのランプは点灯し、3台目は点滅します。	12
RAID1 / RAID5 / RAID6モードのとき、HDDユニット交換後にデータ復旧できない	●HDDユニットが確実にディスクスロットの奥まで差し込まれているか確認してください。	設置編
	●データを復旧しようとしているHDDが故障しています。	-
	●交換したHDDユニットの容量が、元のHDDユニットの容量よりも小さくなっているか確認してください。	-
録画/再生していないのにHDDアクセスランプが点滅 (橙色) する	●RAID1 / RAID5 / RAID6モードでデータの復旧作業を行っていないか確認してください。	-
エラーランプが赤色に点滅している	●システムの故障です。お買い上げの販売店にご相談ください。	-

電源コード・コネクター・電源プラグは、定期的に点検してください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源コードの被ふくが傷んでいる	●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。	-
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い		
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、温かくなったり、ぬるくなったりする		

仕様

● 基本仕様

電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	85 W (160 VA)
使用温度範囲	本体 : +5 °C ~ +45 °C
使用湿度範囲	5 % ~ 90 % (結露なきこと)
動作時許容高度	2000 m以下
寸法 (ゴム足、突起部含まず)	幅 430 mm 高さ 132 mm 奥行き 413 mm (ラックマウント金具から400 mm)
質量	HDDなし時 : 約11.0 kg HDD9台搭載時 : 約19.5 kg
仕上げ	前面パネル ソリッドメタリック塗装、樹脂 上カバー ソリッドメタリック塗装、亜鉛メッキ処理鋼板 後面パネル 亜鉛メッキ処理鋼板

● HDDユニット (別売りです。購入は販売店に相談してください)

HDD機能	3.5型HDD×最大9台 RAID1機能 (HDDが2台以上搭載されている場合のみ運用可能) RAID5機能 (HDDが3台以上搭載されている場合のみ運用可能) RAID6機能 (HDDが4台以上搭載されている場合のみ運用可能)
-------	---

● 入出力

増設入力端子	高速シリアルインターフェース (理論値 5 Gbps)、1系統
--------	---------------------------------

● 別売品 (2022年9月現在)

ハードディスクユニット	WJ-HDU41MUX(1 TB)、WJ-HDU41NUX(2 TB)、 WJ-HDU41QUX(3 TB)、WJ-HDU41SUX(4 TB)
-------------	---

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電 話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(☞24ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- | | |
|--------|-------------|
| ●製品名 | 増設ユニット |
| ●品番 | WJ-HXE400UX |
| ●故障の状況 | できるだけ具体的に |

i-PRO製品の「保証制度」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像や音※が出てこない。
- その他の異常・故障がある。



直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

※：音声対応していないモデルもあります。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

i-PRO製品の「お問い合わせ」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。

https://i-pro.com/jp/ja/support_portal

i-PRO株式会社

<https://www.i-pro.com/>

© i-PRO Co., Ltd. 2022

Ls0922-0 * PGQX2642ZA *
 Printed in China